

六二番至三八七六
八番(自三八八
五番至三九二二番)
二十枚(自三九四
二枚(自三九五三
三九七五番)十一
三二九七五番)一
至四〇一四番)八枚
枚(自四〇八七番至
六千四百四(自三
三七六六番至三八
九一九番)六枚(自
九一九番)六枚(自
四〇三九番
九番至四〇九九番)
枚(自四一〇四番
(番至四一六三番)
十六枚(四一九五
四二二二番)二十
一枚(自四二三五
四番至四二五七番)
(以下次号)

クル所ニシテ中人
校ニ入ルカ爲ノコ
中學科ヲ分テ初
科ハ修身和漢文英
物理化學經濟配簿
缺キ又ハ佛語若シ
唱歌、教授法等ノ
フ〇第四條 高等

前級ノ級	二
問	二
行七凡	一
小學讀本	一
假名交リ文	一
手紙文	一
讀取文ノ内	一
行	八
書	八
字	八
除法度量衡	二
貨幣ノ内	二
位置法除	二
法度量衡	二
幣ノ内	二
又算ノ	二

中學科ハ初等中學科ノ修身和漢文英語配簿及唱歌體操ノ類ニ三角法金石本邦法令ヲ加ヘ又更ニ物理化學ヲ授クルモノトス〇第五條 中學校ニ於テハ土地ノ情况ニ因リ高等中學科ノ外若クハ高等中學科ヲ置カズ普通文科普通理科ヲ置キ又農工業商業等ノ専修科ヲ置クヲ得〇第六條 普通文科ハ高等中學科中ノ三角法金石物理化學圖書等ノ某科ヲ除キ或ハ其程度ヲ減シ修身和漢文英語本邦法令等某科ノ程度ヲ増シ又歴史經濟倫理心理等ノ某科ヲ加フルモノトス〇第七條 普通理科高等中學科中ノ和漢文英語本邦法令等ノ某科ヲ除キ或ハ其程度ヲ減シ金石物理化學圖書等某科ノ程度ヲ増シ又代數幾何測量地質重學天文等ノ某科ヲ加フルモノトス〇第八條 初等中學科卒業ノ者ハ高等中學科ハ勿論普通文科普通理科其他師範學科諸專門ノ學科等ヲ修ムルヲ得ベシ〇第九條 高等中學科卒業ノモノハ大學科高等專門學科等ヲ修ムルヲ得ベシ但シ大學科ヲ修メントスルモノハ皆分ノ内尙必須ノ外國語學ヲ修メントコトヲ要ス〇第十條 初等中學科ヲ修メントスル生徒ハ小學中等科卒業以上ノ學力アル者タルベシ〇第十一條 中學校ノ修業年限ハ初等科ヲ四箇年トシ高等科ヲ二箇年トシ通シテ六箇年トス但シ此修業年限ヲ伸縮スルコトヲ得ベシト雖モ一ケ年ヲ過クベカラス〇第十二條 中學校ニ於テハ一年三十二週以上授業スルモノトス〇第十三條 中學校授業ノ時間ハ初等科ハ一週二十八時高等科ハ一週二十六時ヲ以テ度トス但シ此時間ヲ伸縮スルコトヲ得ベシト雖モ一週二十二時ヲ下ルベカラス二十時ニ過クベカラス

右掲クル所ノ各等中學科ニ程ノ一例ヲ示ス左表ノ如シ(以下次号)

〇東京府甲第二百二十九號 區部伊豆七ヲ除ク 備荒儲蓄金臨時支出豫算部常置委員會ノ決議ヲ取リ左之通り相定ム 北豐島郡南足立郡水害村々 一金九百三十六圓五十錢 避難所諸費

明治十五年十月十三日 東京府知事芳川顯正

〇正誤 大藏省第百十五號中印此金五千万九百九百圓トアルハ五万九千三百圓ノ誤リ又東京府百廿七號請買人民名ノ下(印)ノ字ヲ加フ同當區町村在籍トアルハ當區町村内在籍ノ誤リ

時事新報

後藤板垣二君ノ洋行ヲ論ス

名ハ實ノ實ナリ其實ナクハ其名ナシ實ナキノ名ハ忽チニ顯ルト雖モ亦忽チニ隱ル久傳ノ名ハ虛ナラズ之ヲ百摩シ之ヲ千拭スルモ其名愈顯ルハ蓋シ其積ム所ノ實愈其光輝ヲ發スルナリ若シ夫レ久傳ノ名モ朝ニ夕ニ其實ヲ變シ或ハ腐蝕シ或ハ壞乱スルヲ以テ時々刻々之ヲ試驗シ果シテ其實体ニ腐蝕壞乱ナキヲ確證シ始テ其名ヲ信スヘキト云フニ至ラハ吾人ノ世ニ居ル紛々擾々ニ堪ヘサルナリ然リト雖モ余輩ハ容易ク其名ヲ信セサルモノナリ曰ク其ハ慷慨憂世ノ君子ナリ其ハ卓犖豪勇ノ丈夫ナリト甲傳乙唱一時其美名ヲ喧傳スルモ其積ム所ノ實一行ノ故ニ出テ來テ年月ヲ累テ百千ノ言行ヨリシテ之ヲ傳フルニ非テレハ實トシテ信セズ他日ヲ待テ其美名ノ果シテ實ナラシムルヲ望ムルニ非ズ夫レ久傳ノ名ニシテ實ニ一行ノ言行ヨリシテ之ヲ傳フルニ非テレハ實トシテ信セズ他日ヲ待テ其美名ノ果シテ實ナラシムルヲ望ムルニ非ズ

一行ヨリ求テ信スルモノハ實ニ其美名ノ實ニシテ信セズ他日ヲ待テ其美名ノ果シテ實ナラシムルヲ望ムルニ非ズ夫レ久傳ノ名ニシテ實ニ一行ノ言行ヨリシテ之ヲ傳フルニ非テレハ實トシテ信セズ他日ヲ待テ其美名ノ果シテ實ナラシムルヲ望ムルニ非ズ

後藤板垣ノ兩君ハ明治維新ノ元勳ナリ事未ダ今日ニ至ルマデ二十年來世人ノ瞻仰スル所ニシテ其言行ノ世ニ即目ニ觸ルモノ豈僅百行千言ナランヤ故ニ之ヲ傳ルモノ之ヲ譽ルモノ各其根柢スル所アリテ唯其人ノ一言一行ヲ以テ空ク其名ヲ喧傳スルモノトハ大ニ運應アルノ一事ハ余輩ノ辨解ヲ須ヒサルナリ是以テ二君ノ名ハ維新之ヲ美ト爲スノ人ニ在テモ亦之ヲ醜ト爲スノ人ニ在テモ苟モ一朝一夕ノ故ニ非キル可キハ亦信シテ疑ハサル所ナリ二君ノ名ハ久傳ノモノコソテ所謂千言百行ヲ歷ルモノナリ所謂其實ニ生スルノ光輝ナレハ之ヲ醜ト爲スモノ之ヲ美ト爲スモノ今回洋行ノ一事ヲ以テ其美惡ヲ醜トナル可ラズ亦其醜惡ヲ美トナル可ラズ若シ其人ノ經歷ヲ信セス唯目前ノ一言一行ノ吾意ニ適スルト否トヲ以テ其人ノ必事如何ヲ許シ忽チ之ヲ美ト爲シ忽チ之ヲ醜ト爲シ其言行ノ終ル所ヲ審ニセザルハ時々刻々人ノ必事ヲ試驗セザレバ以テ其腐蝕壞乱ナキヲ保ス可ラズ斯ノ如ク紛々擾々ノ必事ヲ以テ世ノ人事ヲ審判セント欲セバ世ニ交ル可キ人ナキノミナラズ人モ亦斯ノ如ク紛々擾々ノ人ト交ルモノナカル可キナリ

余輩ハ二君ノ二十年來ノ言行ヲ聞見シ其名ノ實ニ空シカラサルヲ信スルモノナリ二君ヲ以テ忘身憂世ノ君子ト爲スナリ然リト雖モ其言行一々余輩ト所見ヲ開フスルモノト云フニ非ズ人ノ思想ハ其耳目鼻口ノ不同アルガ如ク相似サル所多シト雖モ二君ノ忘身憂世ノ君子タルハ殆ト世ヲ譽テ之ヲ信スト言フモ愚言ニ非ズ唯之ヲ譏ル者ハ忘身憂世ノ志厚キニ過キテ或ハ時弊ヲ矯正スルノ大急ナラント恐ルニ過キテ然ルモ退テ二君ノ地位ヲ一省セヨ外ニ在テ時弊ヲ矯正セント言フモノハ古來其言ヲ激ニセザルモノ無シ蓋シ激ナラザレバ人多クハ之ヲ聞カズ外ニ在テ太急ナルガ爲メ内ニ在テ事ヲ緩ルノ日モ亦此ニ同シカラント言フハ蓋シ過慮ナリ或ハ氣質ノ偏スル所矯正ノ大急ナキヲ必ス可ラザルモ他ニ之ヲ緩和スルノ人ヲ得ハ未ダ必ズ其太急ヲ恣マニスルコトアルヲ憂ヒズ現ニヤ目下ノ時弊之ヲ矯正スルノ大急ヲ要スルハ殆ト滿地ノ輿論ナリ是以テ余輩ハ二君ノ從來ノ言行ヲ信シ今回ノ洋行モ亦時弊ヲ矯正スルノ一手段ニシテ其美名ノ實ニ一行ノ言行ヨリシテ之ヲ傳フルニ非テレハ實トシテ信セズ他日ヲ待テ其美名ノ果シテ實ナラシムルヲ望ムルニ非ズ

ニ出テリ君ヲ親ムノ人ニ在リハ君ガ主義ヲ變換セリト疑フコトハアラザレド疑似ノ間ハ蓋子ノ慎ム所ナレバ縱令其目的正シクレバ手段ヲ問フニ暇アラズト爲スモ手裏モ亦正々堂々トシテ欲ス百分中ノ一分モ其手段ノ變換アルハ其政壇中旗色明ナラザルヲ憂ヘシキ也

夫レ果シテ然ラバ今西ノ洋行ノ一事ヲ以テ忍テ君ノ必事破壊セリトスルガ如キハ速了ノ甚シキモノヨシテ其信厚カラズト云ハザルヲ得ズ何トナレバ縱令洋行費ノ出處万ケ一青天白日ナラザルコアルモ僅ロ二二勢圖ノ實益ヲ以テ君ヲ買ヒ得タリトスル歎何ソ夫レ若ク信ズルノ厚カラザルヤ君ハ丈夫ナリ金ヲ以テ買フ可ラザルナリ或ハ君ガ一二貴顯ノ甘言ヲ信シ第

二回大坂會談ニ臨マント思ヘル乎大坂會談ノ辛酸ハ君ノ飽マテ知ル所ナリ歎クニ其法ヲ以テスレバ君子ハ欺カル、モノトハ云ヘ再三スベキモノニ非ス故ニ余輩ハ之ヲ信ズル能ハズ唯君ノ此行ハ主義ヲ施スノ一手段ナルヲ信ズルモノナリ又從來君ヲ景慕シ君ノ恩顧ヲ蒙リ而シテ自今君ト黨議ヲ異ニスルガ爲メ君ヲ惡ムモノガ類ニ此行ヲ誹謗スルガ如キハ卑劣モ亦

ニハ必中既ニ之ヲ知ルナラン而シテ論鋒ヲ其私行上ニマテ及シテ之ヲ誹謗セントスルハ己レガ志操ヲ變換スルノ爲メヨリ入モ或斯クアツト推察シタルモノナラン他黨ヲ誹謗シテ以テ己レガ地步ヲ進ルノ意乎若シ然ラズシテ君ガ此天歩艱難ニ際シ遠ク洋外ニ避フナ爲メ自由黨ノ爲メモ幾分ノ聲援ヲ殺

キ延テ民間政黨ノ樹立ニ害アリト君ガ此行ヲ思ヒ止ランコトヲ希フノ眞意ナラバ何ソ論鋒ヲ愛惜ノ點ニ立テサレバ其黨ノ諸新聞中往々君ガ此行ヲ喜ブ如ク誹謗アルハ果シテ何ノ爲メヤ其敵視スル所ノ黨員諸君身ヲ試シテ以テ其瓦解ヲ見ントスル乎余

君ヲ誹謗スルハ帝政黨新聞記者ノ如ク容易ク食糞スヘキニ非ス抑モ之ヲ喜ブモノハ人ノ不幸ヲ喜ブノ心ヲ以テ人ノ不幸ヲ喜ブモノナラバ不幸トシテ喜ブモノナラバ唯君ノ洋行ハ其主義ヲ放棄スルニ一手段ニ着手シテ見ルノ他ナシ其成敗ニ至ラハ國運ヲ謀ル期ス可ク

傳ノ名ハ實ニ生スルノ確言ヲ知ラサルモノナリ然リト雖モ古語ニ精テ蓋テ其人定ルト云フコトアレハ或ハ余輩ガ前ノ確言ヲ妄信シ後ノ確言ヲ輕視スルノ誤リニ居ルモノ乎余輩ハ刮目シテ二君ノ洋行ヲ終テ後日我國ノ幸福ヲ加フルコトアルヲ待ツモノナリ一言以テ二君ノ洋行ヲ送ル

雜報

○御造營事務所 皇居御造營事務所は仮ニ舊西丸二重橋内ニ設けられしり今般皇城内へ該事務所ヲ新築させ落成の上同所へ移さるゝといふ
○皇子明宮 同宮に最早お四ツよ成らせ給ひ近頃ハ至つて健康にましませ近々赤坂御苑内なる菊花満開の時をもつて同宮を召させられ御獨歩の御遊等在らせらるゝよし承くる

○桂宮 去る一日西京に於て既ニ御一週年祭を執行在らせられし故桂宮が是まで住させ給ひる御殿の御稱号のみよ未ニ御世嗣も在らせられずとい徒らよ過させ給ふも歎きはまゝと皇室よ於ても種々協議せらるゝも同宮は素々四親王家よして御直宮さくでは御世嗣成と難きよ付今度權典侍千種任子殿の御懷妊よまを誠にもつて幸れ事かれバ若し皇子御降誕おらせられらる時は直ちに同宮の御世嗣も御治定相成るとい御内意もよと此程洩を聞しが素々其實否の窺ひ知るよよまなげきバ唯聞ままよを記しぬ

○大木司法卿 同卿に昨日午後一時過元老院に到り佐野議長に面會の上數刻用談せられしが右の多分民法草案の件からんといふ
○東京丸 同郵船は去る十日午後八時神戸港を出發同船にて井上外務卿宮本外務大書記官并に朝鮮使節朴泳孝の一行も乗組を居られ今朝横濱へ入港バ此等の處昨夕までは着船せざりしが右の全一昨日の暴風よて紀州大島邊へ寄り難を避けらる爲め延着とるならんといへり

○謝罪狀奉呈 今般朝鮮使節來朝に付て謝罪狀奉呈の順序其他本件に係る事務一切花房辦理公使井上内閣書記官光妙寺齋藤外務書記官よて取扱を該書狀奉呈は零來る十八日御見込ありと承る
○故松田府知事 今十三日は故東京府知事松田道之君の百日祭相當に付青山墓地に於て親族知己バ方々よて法會を營なするといふ

○參事院 同院にて此頃會議を開かるゝ節ハ大抵田中副議長が山縣議長の代理を勤られ山縣議長に内閣へのみ出頭ありて同院へハ餘り出頭せられぬと云

○統計表 過般來各省院廳府縣表を纂集し目下續々統計院よ進於て之を一般人民よ知らしめ計表第一号を編纂せられ來十六配布さるゝの手筈にて殊よも許さるゝからんといふ

○慰勞宴會 日本橋、本郷兩遊しに付昨日其筋よ院長へ金百金卅五圓よ七圓迄の差等よて手當金を下賜せよとしりバ兩余名は同日淺草公園地の江崎某夫より上野精養軒よ於て慰勞のいふ

○慶筵 過般平和の局を結で無房辦理公使の會友さる博愛社地會統計協會萬年會の有志諸氏二慰め其榮を祝するに爲め來る十會を開き同公使を饗せらるゝといふ
○昇等 元老院にてハ一昨十一者各一等の昇給せり又同日大て藤尾淺古川等の諸氏ハ各一等

○フェチロサ氏 東京大學三學エチロサ氏の平素日本流の繪畫共へ貽り遺せしが今度上野繪畫共の珍畫を贈寫させ自國へ贈りといふ
○檢疫局 東京檢疫局は今十三に付更み内務省中へ職務取扱係署及び區郡役所へ通達せらるゝ

○避病院 先年中各避病院とちよ相成まが本年設立にありしも都て其儘保存せらるゝ事よ此
○紙幣燒却 豫て諸新聞に廣告印刷局構内にて一昨十日(初日)札金八千三百圓、五十圓札同一二札同二万五千圓、五圓札同一万八万圓、一圓札同三十六万圓、半一万〇四百五十圓昨十二日燒却十四万圓、一圓札同十二万圓、二錢札同四千圓合計百二十六万六千圓

○日本銀行吏員 大藏省銀行局田代邊見ハ三等屬よ一昨日日れらるゝよし
○祝砲追加 海軍祝砲中へ自今此節の祝砲を加へらるゝ旨昨日